

堺 アルフォンス・ミュシャ館 企画展 「ミュシャ・スタイルの秘密」を開催します

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、以下のとおり企画展「ミュシャ・スタイルの秘密」を開催します。

1895年1月1日、ミュシャが初めて制作したポスター《ジスモンダ》は、たちまちパリで話題になりました。等身大に描かれたサラ・ベルナールはまるで舞台から抜け出してきたよう。一見すると装飾的に見えるモチーフや文字の配置には、人の視線を意識した細やかな意図も感じさせます。その後のミュシャのポスターに続くこの手法は、1900年頃にはすでに“ミュシャ・スタイル”と呼ばれ、今も人々を魅了しています。本展ではミュシャの代表的なポスター作品を中心に、下絵や《装飾資料集》を始めミュシャ・スタイルの手引書も紹介。モチーフや構図、ミュシャのデザイン論も紐解きながら、皆様を“ミュシャ・スタイル”の世界へ誘います。

(本展の特徴)

- ①ミュシャが初めて制作したポスター《ジスモンダ》をはじめ、ミュシャ・スタイルを代表するポスターの数々を公開します。
- ②下絵や装飾図案、ミュシャのデザイン論からミュシャ・スタイルの魅力を再発見できます。
- ③ミュシャのクリスマス作品、民族衣装やイースター作品と合わせてチェコやスラヴのクリスマス飾り、イースターエッグも展示。ミュシャのルーツにもふれられます。

なお、来館の際には、マスクの着用や消毒液の利用など新型コロナウイルス感染症対策のご協力をお願いいたします。

1 展覧会名

ミュシャ・スタイルの秘密

2 会期

令和3年11月20日(土)～令和4年4月3日(日)

前期：令和3年11月20日(土)～令和4年1月30日(日)

後期：令和4年2月3日(木)～令和4年4月3日(日)

3 出品予定数

約80点(期間中、前期と後期で一部作品の入れ替えがあります)

4 場所

堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

（堺市堺区田出井町 1-2-200 ベルマージュ堺式番館）最寄駅：JR 阪和線堺市駅

5 開館時間

午前 9 時 30 分～午後 5 時 15 分（入館は午後 4 時 30 分まで）

6 休館日

月曜日（休日の場合は開館）、休日の翌日

展示替臨時休館日（2 月 1 日・2 日）

7 観覧料

一般 510 円（410 円）、高校・大学生 310 円（250 円）、小・中学生 100 円（80 円）

*（ ）は 20 人以上 100 人未満の団体料金

*小学生未満、堺市にお住まいの満 65 歳以上の方（確認できる書類が必要）、

障害者手帳等をお持ちの方とその介助者は無料

*その他提携割引制度あり

8 主催

公益財団法人堺市文化振興財団／堺 アルフォンス・ミュシャ館（堺市立文化館）

9 後援

在堺チェコ共和国名誉領事館、堺市教育委員会

10 協力

日本玩具博物館、OGATA コレクション

11 同時開催テーマ展示

チェコ人、スラヴ人、そしてクリスチャンとしてのミュシャのルーツにふれるテーマ展示。子ども時代に聖歌隊にも所属していたミュシャは、多感な 10 代前半の多くを教会で過ごしました。祝祭の風景や音楽、ステンドグラス、建築、フレスコ画と教会での時間はミュシャの感性に大きな影響を与えています。

ミュシャの作品からクリスマスや復活祭のモチーフ、民族文様に注目し、日本玩具博物館の世界のクリスマスコレクション、イースターエッグコレクションと合わせて展示します。お国柄、地域色あふれる世界の祝祭の違いもお楽しみください。

- ・ミュシャが描いたクリスマス
令和3年11月20日（土）～令和4年1月30日（日）
- ・ミュシャとスラヴの民族文様—スラヴ諸国のイースターエッグとともに
令和4年2月3日（木）～令和4年4月3日（日）



ツリー飾り パン細工のオーナメント
／チェコ／1990年代
／小麦・塩／日本玩具博物館蔵



きびがら細工のキリスト降誕人形
／チェコ／1980年代
／とうもろこしの皮／日本玩具博物館蔵



モラヴィア地方のイースターエッグ（ろうけつ染め）
／チェコ・モラヴィア地方／1930年代
／鶏の卵殻／日本玩具博物館蔵

12 関連イベント

ミュシャ・スタイルのデザインカード作りなど企画展をより親しむワークショップも開催します。くわしくは同館 HP (<https://mucha.sakai-bunshin.com/>) でご覧になれます。

〈イベント申込み方法〉

参加希望者名（フリガナ要）・年齢・人数・住所・電話番号・イベント名・日付を明記して、往復はがき、FAX またはメール (much@sakai-bunshin.com) にて、堺 アルフォンス・ミュシャ館までお申込みください。 ※電話でのお申込み不可。

※本展に関連するイベントは、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、状況により中止または延期にする可能性があります。

【アルフォンス・ミュシャについて】

19 世紀末のパリで一躍人気のポスター作家として才能を開花させたアルフォンス・ミュシャ（1860-1939）は、芸術様式アール・ヌーヴォーを代表する画家として広く知られています。ミュシャのポスター作家としての成功は、稀代の女優サラ・ベルナール（1844-1923）との出会いにより、彼の名がパリ中に広まったことがきっかけです。

1900 年のパリ万国博覧会への出展を経て、後年には祖国チェコへの芸術的貢献を願い、大連作《スラヴ叙事詩》をはじめ、チェコの独立と平和を願った油彩画などを制作しました。

【堺 アルフォンス・ミュシャ館について】

堺 アルフォンス・ミュシャ館が所蔵するミュシャとその関連作家の作品約 500 点は株式会社
ドイの創業者、土居君雄氏（1926-1990）が収集したものです。土居氏の没後に遺族によって
堺市に寄贈されました。コレクションは、ミュシャのポスターや油彩画、素描や宝飾品など、
世界有数を誇る体系的な作品で構成されています。

堺 アルフォンス・ミュシャ館では、ミュシャの初期から晩年期にまでわたる作品を展示し、
様々なテーマでその創作活動を紹介しています。

【堺市とミュシャの関連について】

堺が生んだ歌人・与謝野晶子は、明治浪漫主義の文芸誌『明星』で活躍しました。『明星』の誌
面では、ミュシャは「ムッカ氏」という名前で紹介されており、ミュシャの作品を思わせる挿
絵が日本人画家によって描かれています。ミュシャは堺市にとって大変縁のある画家と言えま
す。

問 い 合 わ せ 先	(企画展について) 担 当 : 公益財団法人堺市文化振興財団 堺 アルフォンス・ミュシャ館 (堺市立文化館) 電 話 : 072-222-7227 ファックス : 072-222-6116
	(本市の文化振興について) 担 当 課 : 文化観光局 文化部 文化課 電 話 : 072-228-7143 ファックス : 072-228-8174